

花嫁拔糸計画

曾我真理子

目次

花を見る

あたらしいペイン

HONEY

告白

ホテルスラッシュリアル

コスモス

ランチヨンマットを汚す

デコイ

BRIDE

抜糸

ローター

産室

野宿

holiday

ホットケーキ

研ぐ

花を見る

誰が手向けたのでしょう
花を

弟は生きていれば十八

コーラの缶

瓶

ひか

った

ヘルメット

(十二時十分頃死亡

っていったから

三十分は生きてたんだね)

母親(らしき女性)

が

蹲って

黒い制服

が

蹲って

なにか

はなしをしている

わたしも

花を手向けて

そこから立ち去りたい

あたらしいペイン

傷 傷でなくなる

痛み とても狭い痛み

隠せない

拡がらない

拡がる？

砂漠

わたしの中に砂漠

わたしの中に迷宮

砂漠の中の迷宮

抜け道はたくさんある

鍵は

ひとつだけ

鍵は

つくったけれど

握り潰した

誰かに預けたかったのに

握り潰した

そのときの

痛み

傷

濡れていた

失うこと

忘れること

傷を

そのことの

痛み

傷

傷でなくなる

足もとに落ちる

そのときの

痛み。

バッグの中に別の入口が出来ていて

(塞いだ方が？ それともここから入ってよいものか)
と思索していたところへ

見たことのない猿がやってきてこう言った、

「体育委員はわたしが代わりにやりますから

あなたはバターを準備して下さい」

やつの消えた後には当然スリッパが残っていて

ハチミツのにおいがしている

大きな音がしたような気がして振り向くと

件の入口からたくさんのねずみがい出してきている

(してみるとこれは入口ではなかったということか)

ハチミツのにおいはすれども

足元にあるのはスリッパばかり

というわけで

ねずみたちの憤慨することしきり

「いつになつたらこのはしたない穴は塞がれるのか」と言いながら帰っていった、

(ねずみに言われては仕方あるまい)

穴を塞ぐためには何が必要？

——これ以上誰も助けに来てはくれないか、

とり敢えず

バターを買いに行かなければね。

告白

逃げ込む森の中

(思ったよりも暗い)

はだして走るのあたりが血で汚れる

差し込む光

惑わされる 走り続ける

指を切り

頬を切り

呼吸が早くなる

暗さを増す毎に浮かんでくる意識

(気付かないふりをしてきた

それだけが問題ではないのだ けれど)

息が苦しい

足がもつれる

意識が浮かんでくる

呼吸を押しつけてのどから漏れだす

ああ

叫んでしまった

瞬間

腕を掴まれ口を塞がれ地面に押し付けられる

月

見えるはずのない月 わたしを照らしている

冷たい土の上

犯されながら果てるのを待っている

沈んでいく意識

伸ばした手足に何かに触れる

一度だけあなたの名前を呼ぶ

すべてが降りてくる

そうして

それだけがわたしの中で真実にすりかわる。

ホテルスラッシュリアル

代議士が自殺したホテルを前に
話題といたら選挙のことだ
降りだした雨に増えだした灯
新聞のインクと革靴のにおい

これはこれでリアルなのだ
きつとどこかに数えてる人がいるんだろう
今日死んだ人 昨日死んだ人
十年前との比較とか

黒こげのホテル もう何年もそのまま
何も聞こえなかったけれど

時間と何かをひきかえにして人は生きる
それだけのこと
それだけがリアル

コスモス

コスモスが咲いていました
白い鳥がたくさん飛び立っていった

冬

夏
秋に生まれたあなたから

春に生まれたわたしのいのち
ありがとう

ごめんなさい

言えなかった言葉が昇っていく
あかるい空の下

すべての人が忘れた頃

開いているだけの扉は閉じて

静かに

できなかつたお話しをたくさんしまししょう。

ランチヨンマットを汚す

汁をぼたぼたとたらしながらオープンサンドを喰らっている
今のわたしに必要なのはもう少し違ったマテリアルなのだ
「ちょっと遅めのランチをシェフ手作りのデザートといただ
く」ような店に入ってしまった自分の愚かさを呪うね
見渡せば
生花だか造花だかわからないものがそちこちに転がっている
そう、
間違っても部屋に造花を飾るような女にだけはなるまいよ、
心に誓うや
一層ぼたぼたと汁をたらしながら
オープンサンドを喰らうのである。

デコイ

その人のカレンダーは赤丸がひとつずれている。

「違います」と指さすと

「その日は無理だよ」と笑う。

「そうじゃないんです」と首を横に振ると

「困らせないで」と唇を指で塞ぐ。

そうやって続いてきた幾つもの夜、

伏せたまなざしは足の爪の甘皮を見ている

足の指の間の隠れた何かを見ている

そして

「いつの間にこんなところまで」と思う頃にはもう愛撫は終わっている、

（あなたの瞳に映るわたしの姿は美しいか

視姦されながら染まっていく

この いびつな からだは）

不確かな囁きに満たされたふりをしながら

それでも言えない最後の言葉

愛している愛している愛している、

その人の指先に触れながら夢想するわたしの体は冷たい。

BRIDE

会社のトイレには幽霊がいる
結婚間近に自殺した女性だ
皆知っているが口には出さない
入口で「あ」と目くばせする
それがわたしたちの誠意だ

彼女は膝を抱えて背を丸めている
が
顔はこちらを向いている
いつも何か言いたげだが鏡に映るだけなのでよくわからない

人はしあわせにならなければだめだ
言いたいことは自分で言わなければだめだ
したくないことは拒絶しなければだめだ
愛は捧げなければだめだ

わたしは生きる
血まみれの花嫁衣裳で
傷だらけの体で
わたしたちは生きていく。

抜糸

牛乳を温めて飲む
涙が落ちる

この糸をほどけばあなたはわたしから離れていく

傷があったことなどわからなくなりますが
痛みはしばらく残りますが

あなたの夢を見る
あなたに抱かれる夢を見る
あなたの中で子供のように泣く夢を見る

傷には触れないで下さい
治りが遅くなりますから

この手を
放さなければ

部屋がきしむ
パルスがひび割れて角膜を逆撫でする
動脈がのどを突き破る
眉間から吹き出した純情が内耳を汚す

この糸をほどいてわたしはあなたから離れていく

部屋がきしむ

ほどいた糸に足を取られて屋根裏へと滑り落ちていく
夕べ

□
—
タ
—

あなたの舌を覚えているからね
同じ

動きで

ゆっくり落としていく

甘い

記憶がくる

冷たくなるだけで体は濡れる

あなたは知らないから

あの時とても優しかった

指の

透けて見えないところに骨がある

それを

覚えていて

蜘蛛の巣が光っている

今日は雨

弱い雨だ

このまま眠っていい

産室

咽が渴いて目が覚める

(目を覚ます)

冷えたりノリウムの床を踏む

激情が

粘性の物質に変質してこちらを見ている

空はさわやかに赤く燃えている

海に向こうでは戦争をしている

全てを赦すためにあなたを抱く

全てを知るためにあなたを産む

のけぞる

犯罪者と狂信者が汲んだ水

浴びて

もう一度あの激情に身を投げる

(身を任す)

ことが

できるか足の裏よ

野宿

冒険者の人は同じ顔をしている
犬ぞりやカヤックやロープやザイルが似合う顔
野宿するわたしの顔は違う

闘うべき相手はここにいない
間違っているのはどちらなのか

立ったまま
しゃがんだまま
いつも迂闊な事ばかり
して

長袖をもう一枚調達しなければ
そしてもう少し先まで
犬に声をかけて
湿った草の足跡を聞く

holiday

わたしの中で別の名を呼ぶあなたをゆるしながら目を開ける

腐敗臭の中

ふたりでこうしていることに意味も罪もなくて

見えないものはない

聞こえないものはない

触れる全てを命と名付けてまた果てを目指そう

あなたが放つこの生を幾度もこの世に繋ぎながら

抱かれることのかなしみが

愛することのよろこびを知るとき

世界は崩れ落ちて大きく息をする

ホットケーキ

痩せた男が痩せた犬を連れていたので春だなと思う

痩せたしっぽが上に丸まって野蒜のびるのように見えるから

年度末決算はサラリーマンを残業に追い込み

ホストやホステスを街角に立たせる

どこかの国を救うために明日の食事が減らされる…

ねえ あなた

明日はホットケーキにしましょう

粉と

卵と

牛乳と

バターと

メイプルシロップ

切り分けて食べながら「今日も平和だね」ってことにしとけば

いいのよ

研ぐ

お母さんは赤ちゃんを抱っこする
おっぱいをあげておしめを替えてあげる

お父さんは外に働きに行く
時々早く帰って来て赤ちゃんをお風呂に入れてあげる

わたしは辞書を引いていた
自分の言葉を調べていた

そうして
わたしは泣きながら詩ばかり書いている

初出一覧

HONEY *midnight press* 2号

詩の教室 一般の部

産室 抒情文芸 第103号 読者創作

野宿 抒情文芸 第104号 読者創作

右記以外の作品

webサイト slip

<http://www9.cds.ne.jp/~marupa/> (公開終了)

<http://slip.csides.com/> (公開終了)

<http://slip.happy.nu/> (公開中)

web詩集 花嫁抜糸計画

平成十七年三月三十日発行

著者 曾我真理子

発行者 曾我真理子

公開元 slip <http://slip.happy.nu/>

<http://slip.happy.nu/words/hbk.html>

この文書はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス
「帰属 ー 非営利 ー 同一条件許諾 2.1 日本」の下で
ライセンスされています。

<http://creativecommons.org/licenses/by-nc-sa/2.1/jp/>